

「岳北地域における高校教育のあり方について」

意見・提案書

令和2年1月14日

岳北地域の高校の将来像を考える協議会

長野県教育委員会 教育長 原山 隆一 様

岳北地域における高校教育のあり方について、次のとおり意見・提案します。

令和2年1月14日

岳北地域の高校の将来像を考える協議会

会 長 飯山市長 足立 正則

副会長 木島平村長 日臺 正博

副会長 飯山商工会議所会頭 伊東 博幸

野沢温泉村長 富井 俊雄

栄村長 森川 浩市

「岳北地域における高校教育のあり方」についての意見・提案

はじめに

岳北地域には、普通高校である飯山高校と専門高校である下高井農林高校があります。

飯山高校は二度の再編統合により三校が一校となり、下高井農林高校は専門高校としての学校運営をしてきています。

飯山高校には、普通科・自然科学探究科・人文科学探究科・スポーツ科学科の4学科5クラスがあり、下高井農林高校にはグリーンデザイン科・アグリサービス科の2学科2クラスがあります。

岳北地域の高校は、二度の再編を経て現在の配置・学科となっているところです。

この度、県教育委員会から出されました「高校改革実施方針」において、将来の生徒数の展望を踏まえ、旧通学区毎に地域協議会を設置し、高校教育のあり方を協議するよう求められましたので、当地域では、本年3月に「岳北地域の高校の将来像を考える協議会」を設置し、旧第一通学区（岳北地域）の高校のあり方について、協議・検討を重ねるなかで、以下のとおり意見・提案をまとめ提出するものでありますのでよろしくお願いたします。

I 岳北地域が目指す高校教育のあり方

1 岳北地域の高校教育の現状と課題

(1) 現状

2018年度（平成30年度）の入学生より、飯山高校においては、普通科の募集学級数を1学級減じ、普通科2学級、自然科学探究科1学級、人文科学探究科1学級の探究科2学級（くくり募集）、スポーツ科学科1学級の合計5学級編成、下高井農林高校においてはアグリサービス科、グリーンデザイン科の農業科2学級編成（くくり募集）を継続しており、岳北地域合計で、現在7学級での生徒募集を行っています。

表 岳北地域の県立高校の在籍生徒数及び学級数

学校名	学科種別	学科名	在籍 生徒数	学科別 学級数	学年別学級数		
					1学年	2学年	3学年
飯山	普通科	普通科	276	7	2	2	3
	特色学科	自然科学探究科	242	6	2	2	2
		人文科学探究科					
		スポーツ科学科	103	3	1	1	1
下高井農林	専門学科 (農業科)	アグリサービス科	193	6	2	2	2
		グリーンデザイン科					
計			814	22	7	7	8

注 学校要覧（令和元年5月1日現在）による

(2) 課題

中学校卒業生数が 2034 年には 2019 年の 63%まで減少する見込みであり、県全体の減少率 68%と比較しても減少が著しい状況にあります。

岳北地域の中学校予定者数についてみると、2019 年（平成 31 年）3 月に中学校を卒業した生徒は 255 名でしたが、2034 年（令和 16 年）には 167 人まで減少し、2019 年（平成 31 年）に対する 2034 年（令和 16 年）の比率については 65.5%（88 名減）となることが推測されます。岳北地域の募集学級数については、2019 年（令和元年）5 月現在 7 学級ですが、2034 年（令和 16 年）には 4～5 学級となることが見込まれます。

表 岳北地域（旧第 1 通学区）の中学校卒業生数の予測

卒業年・3月	2019年 R1	2022年 R4	2025年 R7	2028年 R10	2031年 R13	2034年 R16	2019年と 2034年と の増減	2019年 に対する 2034年 の比率
中学卒業生数	255	252	170	181	188	167	-88	65.5%
増減 2019 比		-3	-85	-74	-67	-88		

注) 2028 年までは、2019 年度学校基本調査による数。2029 年以降は、2019 年度長野県人口異動調査による数。

2 今後の岳北地域の高校教育のあり方

- ◎ 岳北地域の高校は、地域中学生の期待に応えるため、普通教育と専門教育の学びの場を確保し、それぞれの学校の特色づくりを進めていく必要があります。
- ◎ また、今後の急激な少子化の進行により、将来的に学校規模のさらなる縮小が見込まれ、2 校存続が困難となった場合は、地域キャンパス化等の方策により、2 校が連携した学びの場を構想していくことが考えられます。

上記 2 点の現状と課題を踏まえ、岳北地域として目指す高校教育のあり方について次のとおり意見・要望します。

(1) 専門高校に必要な新たな教育カリキュラムの構築

専門高校である下高井農林高校は、岳北地域の農林業を含めた地域産業を担う人材育成のためには重要な高校であります。

今後の地域産業を担う人材育成のため、環境整備やカリキュラムについて再編が必要と考えますので、カリキュラム構築について以下の点について要望いたします。

- ① 3年間を通じ、「素材づくり」から「調理・加工」「販売・提供」を一貫して学ぶことで、岳北地域の産業（農林業等）を担う人材育成が出来るカリキュラムの構築。
- ②『専攻科』を新たに設け、高校卒業後に地域生産者への実習や必要な資格取得のための講習など、就業に向けての実践につながるカリキュラムの構築。
- ③ 岳北地域の中学生にとって多様な進路選択が可能となるカリキュラムの構築。

(2) 普通高校の特色化と魅力化

2014年（平成26年）に飯山高校2次統合にあたって、地域の高校教育を担うオールラウンドな高校づくりにおける新たな学科として、飯山高校に探究科が設置されました。2016年（平成28年）には文部科学省より、スーパーサイエンスハイスクールとして指定され、先進的な科学教育の推進を図る取組みがされています。

文部科学省の指定期間が終了する令和3年以降の探究科（自然科学探究科・人文科学探究科）、普通科、スポーツ科学科の「探究的な学び」への取組みが今後の課題と考えられます。

普通高校においても、大学進学への対応を重点とした魅力づくりや職業に関する専門科目などを積極的に取り入れキャリア教育の充実を図る魅力づくりが進められています。

今後の学級減に対応する学科の構成と教育課程の編成および「探究的な学び」の推進等、さらなる工夫と検討が必要となります。

(3) 高校の立地と施設のあり方

現在の2校の教育施設を将来にわたって残し、学ぶことがこの地域にとっては必要です。

そのために、2校の立地と学校施設については、以下の形態で存続させることを要望いたします。

将来的に学校規模のさらなる縮小が見込まれ2校の存続が困難となった場合は

「下高井農林高校を飯山高校の地域キャンパスとして、現下高井農林高校の教育施設を活用した、下高井農林高校の地域キャンパス化」とする。

なお、地域キャンパスの名称については地域と充分協議のうえ決めていただきたい。

Ⅱ 目指す高校教育のあり方を実現するための具体的提案・要望

次に、岳北地域が目指す高校教育のあり方を実現するため、具体的な項目を以下のとおり意見・要望します。

1 専門高校としての新たなカリキュラム実現に向けて

- ① 3年間の一貫した学びのための施設・機械等の整備と農業実習のための人的配置。
(農林業生産のための機械、調理・加工施設、販売・提供施設等)
- ② 「専攻科」新設のための施設・機械整備及び人的配置。
なお、「専攻科」については、学生だけでなく、就農等を希望する社会人の学びの場としての提供もお願いしたい。
- ③ IOT化（モノとインターネットを繋ぎ遠隔からの監視・作業等を行うもの）等近代農林業に対応できる機械等の整備。

2 岳北地域の新たな高校教育運営に向けて

- ① 岳北地域の高校間の連携推進。（課題研究・キャリア教育研修など）
- ② 高校教育を進めるうえで必要な環境の確保。（養護教員・学校司書配置等）
- ③ 駅等から高校までの通学手段の確保。（スクールバスの配備等）
- ④ 今後、魅力ある高校教育推進のために、新たな組織を設置し、協議した結果について県教育委員会へ意見・提案をしていきたい。

<資料>

I 設置要綱

岳北地域の高校の将来像を考える協議会設置要綱

(目的)

第1条 岳北地域の高校の将来像を考える協議会（以下「協議会」という。）は、長野県教育委員会策定の「高校改革～夢に挑戦する学び～実施方針」を受けて岳北地域の高校（飯山高校・下高井農林高校）のあり方について協議し、長野県教育委員会に対して意見・要望を提言することを目的として設置する。

(所掌事務)

第2条 協議会は、岳北地域の高校のあり方について協議し、長野県教育委員会に対して、意見・要望の提言を行うものとする。

(組織)

第3条 協議会は、委員25人以内で組織する。

2 委員は次の者とする。

- (1) 岳北4市村首長
- (2) 岳北4市村教育長
- (3) 産業界代表
- (4) その他地域の実情に応じた者（有識者を含む）

(任期)

第4条 委員の任期は、2020年3月31日までとする。ただし、委員の転任の場合は後任者が在任期間を勤めるものとする。

(会長及び副会長)

第5条 協議会に会長及び副会長を置き、会員の互選によって定める。

- 2 会長は、協議会を代表し、会務を統括する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代理する。

(会議)

第6条 会議は、必要に応じて会長が招集する。

- 2 会長は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求めることができる。
- 3 会議は公開とする。ただし、会長の判断により一部非公開とすることができる。

(謝礼)

第7条 謝礼は無報酬とする。

(事務局)

第8条 協議会の事務局は、飯山市教育委員会及び長野県教育委員会の共同事務局とし、その役割分担は次の各号のとおりとする。

- (1) 飯山市教育委員会 日程調整及び会議の運営など協議会の運営
- (2) 県教育委員会 資料の収集・作成など協議会運営の支援

(その他)

第9条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関して必要な事項は、会長が定める。

附則

この要綱は、平成31年3月18日から施行する。

II 協議会での検討経緯

岳北地域の高校の将来像を考える協議会 日程 (旧第一通学区県立高校のあり方を検討する会議)

時 期	内 容		
令和元年 (2019年)	3月18日(木)	第1回協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・会長、副会長選出 ・実施方針等説明 ・意見交換
	5月14日(火)	第2回協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・旧第一通学区高校(飯山・農林)の現状視察 ・飯山高校3学科の現状と課題(校長) ・下高井農林高校農業科の現状と課題(校長)
	7月5日(金)	第3回協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・旧第一通学区高校(飯山・農林)のあり方 ・両校存続の形態と将来のあり方について協議 ・意見交換
	8月7日(水)	第4回協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・旧第一通学区高校(飯山・農林)のあり方 ・両校存続の形態と将来のあり方について協議 ・意見交換
	8月28日(水)	第5回協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・旧第一通学区高校(飯山・農林)のあり方 ・具体的な高校のあり方、方針等作成に向けて協議 ・意見交換
	9月24日(火)	第6回協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・旧第一通学区高校(飯山・農林)のあり方 ・具体的な高校のあり方、方針等作成に向けて協議 ・意見交換
	11月6日(水)	第7回協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・旧第一通学区高校(飯山・農林)のあり方 ・具体的方針等作成に向けて協議 ・意見交換
	11月28日(木) 11月30日(土) 12月3日(火) 12月8日(日)	地域懇談会	<ul style="list-style-type: none"> ・栄村役場(参加者16名) ・飯山市公民館(参加者35名) ・野沢温泉村公民館(参加者17名) ・木島平村若者センター(参加者22名)
	12月26日(木)	第8回協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・県教委への意見提案書策定 ・協議

Ⅲ 協議会委員名簿

岳北地域の高校の将来像を考える協議会 委員名簿
(旧第一通学区県立高校のあり方を検討する会議)

委員氏名	区分	役職等	備考
足立 正則	市 村 長	飯山市長	会 長
日躰 正博	市 村 長	木島平村長	副会長
富井 俊雄	市 村 長	野沢温泉村長	
森川 浩市	市 村 長	栄村長	
長瀬 哲	市 村 教育 長	飯山市教育長	
小林 弘	市 村 教育 長	木島平村教育長	
岩上 芳宗	市 村 教育 長	野沢温泉村教育長	
石澤 清人	市 村 教育 長	栄村教育長	
伊東 博幸	産 業 界	飯山商工会議所 会頭	副会長
荻原 育夫	産 業 界	JA ながの みゆき地区担当副組合長	
中山 稿一	産 業 界	北信州森林組合 代表理事組合長	
加藤 秀一	その他地域の実情に応じた者	長野県農業大学校 副校長	
太田 和明	その他地域の実情に応じた者	飯山市農業関係者	
塩崎 誠	その他地域の実情に応じた者	飯山市農業関係者	
小松 祐一	その他地域の実情に応じた者	木島平村農業関係者	
高橋 義三	その他地域の実情に応じた者	野沢温泉村農業関係者	
堀内 智史	その他地域の実情に応じた者	飯水 PTA 連合会 会長	
酒田 敏彦	その他地域の実情に応じた者	中高 PTA 連合会 副会長	
富井 義裕	その他地域の実情に応じた者	飯山高校 PTA 会長	
岡田 俊輔	その他地域の実情に応じた者	下高井農林高校 PTA 会長	
高橋信一郎	その他地域の実情に応じた者	飯水中学校長会 会長 (飯山市立城南中学校長)	
芳原 毅彦	その他地域の実情に応じた者	中野・下高井中学校長会 代表 (中野市立南宮中学校長)	H31.3月まで
若林 幸裕	その他地域の実情に応じた者	中野・下高井中学校長会 代表 (野沢温泉村立野沢温泉中学校長)	H31.4月から
林 秀徳	その他地域の実情に応じた者	飯山高等学校長	
横澤 毅昌	その他地域の実情に応じた者	下高井農林高等学校長	
藤澤 幸男	その他地域の実情に応じた者	長野県北信地域振興局長	

事務局

氏 名	職 名 等	備考
常田 新司	飯山市教育委員会事務局 教育部 部長	
岩崎 敏	飯山市教育委員会事務局教育部子ども育成課 子ども育成課長	
大口なおみ	飯山市教育委員会事務局教育部子ども育成課 学校教育係長	
鈴木 望未	飯山市教育委員会教育部子ども育成課 学校教育係員	
駒瀬 隆	長野県教育委員会事務局高校教育課 教育主幹兼高校改革推進係長	
上原 一善	長野県教育委員会事務局高校教育課 主任指導主事	